



ごあいさつ

本市のまちづくりの基本的な方針となる「第2次三島市都市計画マスタープラン」の策定から10年が経過し、その間、人口減少・超高齢社会の進行、気候変動による災害の頻発・激甚化、南海トラフ地震への対応など、都市が抱える課題も変化しております。

また、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成や「Society5.0」の実現に向けたスマートシティの推進、新型コロナウイルス感染症の拡大による生活様式や経済活動などの変化に対応した新たなまちづくりが求められております。

これらの社会変化に対応すべく、本市の最上位計画である「第5次三島市総合計画」及び「第4次国土利用計画（三島市計画）」が令和3年4月から開始したことを受け、このたび「第3次三島市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

策定にあたり、本市がこれまで積み重ねてきた歴史・文化等の特性を活かしながら、生活サービス施設を地域の拠点とし、その周辺に居住を緩やかに誘導して、拠点間を公共交通でつなぐ「拠点ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を図り、持続可能な成長を図る計画である「三島市立地適正化計画（令和元年8月）」及び「三島市地域公共交通網形成計画（平成30年7月）」の内容を盛り込み、都市計画の視点で本市の将来都市像である「せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市・三島」を市民、団体、企業などと共に創る“共創”により取り組んでいきたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、三島市都市計画審議会の委員の皆様及びヒアリングにご協力いただいた自治会をはじめ、策定に携わっていただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年1月

三島市長 豊岡 武士

※本マスタープランについては、「三島市立地適正化計画の改定」及び「産業集積拠点の拡張」に対応する改定を行っております。〔令和7年2月〕